



[特集: フッ素は体に悪影響]

虫歯予防といえば、「フッ素が有効である」と聞いたことがあるでしょう。子供の虫歯予防のためのフッ素塗布を町の歯医者さんも推奨していますし、たいていの歯磨き粉にもフッ素は入っています。いまやフッ素は虫歯予防に効果的だというのは常識になりつつあります。

しかし、フッ素という物質は、非常に微量であれば大きな害はありませんが、多量であれば人体にとって非常に毒性の強い化学物質であるということです。

アメリカの農水省では、「フッ素ほど大気中、全ての汚染物質の中で世界中の動物に害を与えてきたものはない」「農業に害を与えている物質でフッ素ほど疑わしく、これまで多くの訴訟が起こされたものはない」と言われています。

神経毒学研究所の実験では、安全とされる適量のフッ素を投与しただけで神経細胞から他の神経毒が引き起こすような多動性障害・記憶障害・知能障害の典型的な画像パターンが観測されました。

その後、実験は打ち切られたが国連人間環境委員会は、1974年2月に地球規模で監視測定すべき物質として水中のフッ素を優先順位の6番目にランクインしました。

フッ素やフッ化物には、**脳の松果体を石灰化させる**作用があると指摘されています。

酵素阻害作用により神経毒として作用し、歯のフッ素症を起こすなど様々な毒性があり、厚生労働省も猛毒として認めています。

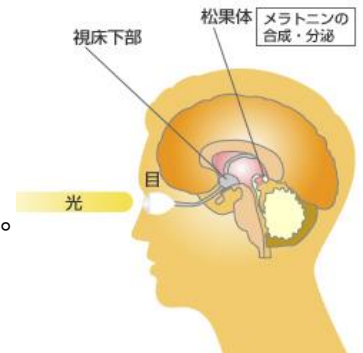
<松果体とは>

松果体とは、大脳半球の間に存在し、一般的に体内時計を調整しています。ほかに人体の成長、生殖機能、体温、血圧、運動活性、睡眠、腫瘍の成長気分や精神、免疫系に影響を及ぼします。

更に寿命の要因の1つとも考えられています。

松果体からは、メラトニンと言うホルモンが出ていて、メラトニンは睡眠を調整します。

メラトニンの分泌は、目から入る光の量で決まり、昼は少なく夜に多くなります。



<松果体の石灰化>

脳には血液と脳脊髄液の間の物質交換を制限する血液脳関門があります。

脳の大部分がこれにより隔離されますが、松果体は隔離されません。その代わり松果体は腎臓に次いで膨大な血液量を受けています。

1990年代、英国の科学者が被験者の松果体に高濃度のフッ化物を発見しました。フッ化物の蓄積によりリン酸カルシウムの結晶を形成し、石灰化と呼ばれる松果体周囲に固い殻が形成される状態を作り出します。

<松果体が石灰化した場合の影響>

- メラトニン産生の低下
- 睡眠と覚醒のサイクルを損なう
- 体内時計が崩れる
- 精神状態の不安定や認知機能の低下を招き、意志の揺るぎ、誤った情報に誘導されやすくなる

※精神的・身体的に健全である為には、松果体が正常であることは欠かせないことなのです！

まずは、自分の体に摂取しすぎない様にするのが大切です。

<現在、必要以上にフッ素含有量が多いもの>

- ・歯磨き粉(フッ素化合物を含むもの)
- ・ベビーフードの一部
- ・ジュース(農薬などが果実に吸収されたもの)
- ・炭酸飲料水・お茶・ワイン・ビール
- ・ファーストフードのフライドチキン
- ・魚介類(缶詰も)
- ・麻酔・農薬
- ・テフロン・コーティングスプレー



<お勧めの歯磨き粉>